



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月8日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社  
 コード番号 9776 URL <https://www.saturin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桶谷 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荘司 晃久  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札  
 TEL 011-613-3210

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,566	14.4	777	110.9	820	118.1	457	103.1
2021年3月期第2四半期	8,364	5.4	368	25.2	376	25.9	225	30.8

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 434百万円 (75.8%) 2021年3月期第2四半期 246百万円 (23.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	134.13	
2021年3月期第2四半期	65.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	15,279	9,821	62.8	2,818.66
2021年3月期	14,511	9,272	63.9	2,708.63

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 9,603百万円 2021年3月期 9,272百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		23.00	23.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,414	0.5	855	25.1	957	19.4	574	27.7	167.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社札幌ミライラボラトリー、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主に注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	4,216,000 株	2021年3月期	4,216,000 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	809,022 株	2021年3月期	792,722 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	3,414,459 株	2021年3月期2Q	3,423,278 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響は、ワクチン接種の進展や各種政策の効果等により、緩やかに回復することが期待されておりますが、冬場に向けて再拡大のリスクに注視が必要な状況にあります。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として続いており、一部の業種では持ち直しの動きがあるものの、観光、雇用情勢、個人消費は低迷を続けております。

医療業界におきましても、医療費抑制政策を背景に実施された薬価改定や新型コロナウイルス感染症の影響等により、更なる経営努力が求められる厳しい事業環境となっております。

このような状況から、当社グループは、感染症の影響を踏まえた計画のもと、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、継続的な事業価値の向上を実現すべく、各事業において新規顧客の獲得等による、営業基盤の拡大と継続的な経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,566百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益777百万円（同110.9%増）、経常利益820百万円（同118.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益457百万円（同103.1%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同期は医療機関による外来診療の抑制と受診する一般患者が減少する等が主要因となり、業績に大きく影響を与える状況となりましたが、当第2四半期連結累計期間におきましては、それらの主要因となる影響も回復基調となるに加え、PCR検査の受託が大幅に増加したことから、売上高3,787百万円（前年同期比34.7%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、本社ビルの移転により検査設備を刷新したことから、減価償却費等は増加しましたが、売上高が増加したことによる利益に加え、原材料等の経費の圧縮もあり、セグメント利益579百万円（同355.1%増）と前年同期を大幅に上回りました。

#### ② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改正による薬価の引下げに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同期は医療機関を受診する一般患者の減少による影響を受けましたが、当第2四半期連結累計期間におきましては、その影響も回復基調となり、処方箋枚数が増加したことから、売上高5,195百万円（同0.9%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、人件費を含む経費が増加したことからセグメント利益410百万円（同1.8%減）と前年同期を下回りました。

#### ③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、備品の販売が前年同期を上回ったことから、売上高531百万円（同47.4%増）、セグメント利益13百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）と前年同期を上回りました。

#### ④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高51百万円（前年同期比30.0%増）、セグメント利益36百万円（同21.5%増）になりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ580百万円増加（前連結会計年度末比9.8%増）いたしました。これは主にその他が195百万円減少しましたが、現金及び預金が619百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が165百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は8,786百万円となり、前連結会計年度末に比べ187百万円増加（同2.2%増）いたしました。これは主に土地が94百万円、差入保証金が63百万円、建物及び構築物（純額）が42百万円、投資有価証券が26百万円それぞれ減少しましたが、工具、器具及び備品（純額）が319百万円、無形固定資産が80百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は15,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ768百万円増加（同5.3%増）いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ283百万円増加(同9.1%増)いたしました。これは主に賞与引当金が130百万円、未払金が71百万円、未払法人税等が39百万円、支払手形及び買掛金が22百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は2,068百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円減少(同3.0%減)いたしました。これは主に長期借入金が66百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,457百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円増加(同4.2%増)いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は9,821百万円となり、前連結会計年度末に比べ549百万円増加(同5.9%増)いたしました。これは、剰余金の配当が78百万円、自己株式の取得25百万円、その他有価証券評価差額金の洗替え22百万円によりそれぞれ減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益457百万円、合弁会社を2社設立したことから非支配株主持分218百万円によりそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.8%となり、前連結会計年度末比1.1ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は2,818円66銭となり、前連結会計年度末比110円3銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響とPCR検査の受託件数等の動向が不透明であることから、2021年5月14日に公表しました予想値を据え置いております。

今後の業績動向を踏まえ、修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,360,724	2,980,255
受取手形及び売掛金	2,778,934	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,944,585
商品及び製品	433,079	419,642
仕掛品	16,389	18,440
原材料及び貯蔵品	57,890	59,847
その他	295,035	99,665
貸倒引当金	△29,514	△29,095
流動資産合計	5,912,539	6,493,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,159,122	4,918,490
減価償却累計額	△1,448,670	△1,250,132
建物及び構築物(純額)	3,710,452	3,668,358
機械装置及び運搬具	42,365	27,089
減価償却累計額	△35,089	△20,354
機械装置及び運搬具(純額)	7,275	6,735
工具、器具及び備品	2,739,683	2,925,950
減価償却累計額	△2,317,702	△2,184,616
工具、器具及び備品(純額)	421,980	741,333
土地	3,526,697	3,432,366
リース資産	142,104	150,787
減価償却累計額	△50,839	△55,014
リース資産(純額)	91,264	95,773
有形固定資産合計	7,757,671	7,944,568
無形固定資産		
その他	42,154	122,938
無形固定資産合計	42,154	122,938
投資その他の資産		
投資有価証券	176,525	149,971
長期貸付金	125	66
長期前払費用	5,009	3,968
差入保証金	245,387	182,326
繰延税金資産	161,947	168,945
その他	226,974	230,292
貸倒引当金	△16,863	△16,841
投資その他の資産合計	799,106	718,729
固定資産合計	8,598,931	8,786,236
資産合計	14,511,471	15,279,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,293,762	2,316,649
1年内返済予定の長期借入金	133,987	133,692
リース債務	23,530	25,777
未払法人税等	249,055	288,077
賞与引当金	115,210	245,680
未払金	113,662	185,094
その他	176,724	194,614
流動負債合計	3,105,932	3,389,585
固定負債		
長期借入金	1,866,013	1,799,167
リース債務	80,203	83,312
役員退職慰労引当金	57,384	62,013
退職給付に係る負債	14,460	14,995
長期未払金	110,440	102,630
その他	4,652	6,053
固定負債合計	2,133,154	2,068,172
負債合計	5,239,086	5,457,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	7,848,543	8,227,783
自己株式	△633,207	△659,124
株主資本合計	9,213,955	9,567,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,429	35,841
その他の包括利益累計額合計	58,429	35,841
非支配株主持分	—	218,701
純資産合計	9,272,384	9,821,821
負債純資産合計	14,511,471	15,279,579

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,364,332	9,566,372
売上原価	5,714,150	6,356,915
売上総利益	2,650,182	3,209,457
販売費及び一般管理費	2,281,616	2,432,273
営業利益	368,566	777,183
営業外収益		
受取利息	177	139
受取配当金	3,005	3,173
受取賃貸料	25,222	22,576
助成金収入	800	40,785
その他	6,707	8,956
営業外収益合計	35,912	75,630
営業外費用		
支払利息	1,214	4,595
賃貸収入原価	23,031	24,034
その他	3,889	3,322
営業外費用合計	28,135	31,953
経常利益	376,343	820,861
特別利益		
固定資産売却益	400	133
特別利益合計	400	133
特別損失		
固定資産売却損	—	89
固定資産除却損	0	696
投資有価証券評価損	11,735	—
減損損失	—	28,552
事務所移転費用	—	74,486
特別損失合計	11,735	103,825
税金等調整前四半期純利益	365,008	717,169
法人税等	139,488	260,492
四半期純利益	225,519	456,676
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,298
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,519	457,975



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	225,519	456,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,409	△22,587
その他の包括利益合計	21,409	△22,587
四半期包括利益	246,928	434,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,928	435,387
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,298

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社札幌ミライラボトリー及び株式会社札幌メディ・キャリアを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高、売上原価、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

これによる影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、2020年11月30日開催の取締役会において、施設の賃借契約解除に関する決議をいたしました。これにより、利用不能になる固定資産について耐用年数を短縮し、使用見込期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は5,388千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,362千円減少しております。

## (追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,812,552	5,151,244	360,717	8,324,514	39,817	8,364,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	294,235	294,235	357	294,592
計	2,812,552	5,151,244	654,953	8,618,749	40,174	8,658,924
セグメント利益	127,361	418,037	△7,536	537,862	29,874	567,737

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	537,862
「その他」の区分の利益	29,874
セグメント間取引消去	6,041
全社費用(注)	△205,213
四半期連結損益計算書の営業利益	368,566

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,787,939	5,195,165	531,520	9,514,625	51,747	9,566,372
外部顧客への売上高	3,787,939	5,195,165	531,520	9,514,625	51,747	9,566,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	753,966	753,966	537	754,503
計	3,787,939	5,195,165	1,285,486	10,268,591	52,284	10,320,875
セグメント利益	579,641	410,616	13,144	1,003,402	36,298	1,039,700

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. (会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

この変更による事業セグメントの売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,003,402
「その他」の区分の利益	36,298
セグメント間取引消去	△5,000
全社費用(注)	△257,516
四半期連結損益計算書の営業利益	777,183

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。